

JSPS Information

◇日本惑星科学会第13回総会議事録

◇第35回運営委員会議事録

◇日本惑星科学会第13回総会議事録

日時：2000年6月27日（火） 16：00～18：00

場所：地球惑星関連学会合同大会 会場 C416

（国立オリンピック記念青少年総合センター）

議事次第

1. 開会宣言

香内総務委員長により開会が宣言された

2. 議長団選出

議長・書記にそれぞれ渡部潤一運営委員，倉本 圭運営委員が選出された。

3. 議事

3.1 第5期上期活動報告

基調報告 ……………山本哲生会長
対内的には会費値上げにより財務状況改善し会員サービス向上の基盤が整った。これをベースに学会ネットワークサーバーの設置計画が林将来計画委員長を中心に進んでいる。また2000年秋季講演会の準備が筑波周辺研究機関に所属する会員によるLOCにより進んでいる。2001年大会開催地については岡山理大を軸に交渉することになっている。交渉不調の場合、東工大に開催を要請する。

対外的には2001年合同大会が大きな問題であり、

対外協力委員会が対策にあたっている。外部状況をまとめると、Locの引き受け手がなかった昨年以降、惑星科学会会員を含む有志と関連学会連絡会を中心に活発な討議が行われ、現在では東大地球惑星専攻が中核となって運営する方向で動いている。

会計報告 ……………渡邊誠一郎財務専門委員長
1999年度第5期上期決算の概要は以下のとおり（詳細は表に）。

収入：会費収入が予算額を上回った。宇宙開発事業団の加入が大きい。雑収入についても秋季大会講演要旨の学情への登録料が2年分計上され、予算を上回った。また松本誠樹会員より寄付金が寄せられた。

支出：学会誌出版事業費はほぼ予算どおり。講演会事業は東北大 LOCの努力により予算よりも安く上がった。委託事務関連管理費はニュースレター遊星人合冊化により送料が抑えられたことなどにより、経費節減できた。事務局関連管理費については、運営委員の無償労働によって予算よりも経費が抑えられた。

会計監査報告 ……………松田准一・藤井直之監事
監査を行った結果、決算に誤りはなかった。

各種専門委員会報告……………各専門委員長**将来計画委員会報告**……………林将来計画委員長

学会情報サーバーの構築を以下のように進めている。

設置目的：学会情報配布

実行部隊：情報化問題検討ワーキンググループ 寺藺淳也，大竹和生会員，学生アルバイト二人

これまでの経緯：2000年3月：2台のPCを宇宙研，東大数理に導入。

4月：ML引継ぎ（東邦学園短大高木氏より）

現状と近未来：宇宙研ファイアウォール対策，ドメイン取得手続きを進めている。

コンテンツ：運営委員会MLで受け付け，寺藺がコントロールする

編集委員会報告……………倉本 圭遊星人編集幹事

遊星人は若手研究者からの一般投稿を中心にしている。査読を厳しくした。同時に最終原稿の集まる時期が遅れがちである。今後は定期的発行の厳守を目指したい。総ページ数は抑えられている。

EPS報告……………比屋根 肇運営委員

発刊から3年目を迎えている。投稿状況は安定。予算の裏づけも安定している。

科研費：総合英文紙今後四年間で約一億円
電子化：VOL52までは完全公開。宣伝。将来的には課金制か。

分野内容：惑星物質科学系が薄い。さらなる投稿募集中。

利用宣伝：購読料安価。ディストリビューションがある程度確保されている。格安カラー投稿。電子媒体（PDF）添付。電子媒体のみのカラーも可能。

現状：出版者との契約更新。本学会からは金銭的なサポートしない。中身に貢献。

対外協力委員会……………阿部 豊対外協力委員長

WPGM：並木則行，榎森啓元会員が惑星科

学会選出委員として尽力

IUGG：2003年札幌開催。惑星関係のカテゴリなし。惑星科学会準備委員に阿部・田近英一運営委員が参加。対応は今後の様子を見守る合同大会：2001年以降の大学LOC立候補なし。

経緯

昨年12月：連絡会会長案。専属事務局長を雇い，研究者負担軽減の方針提示

3・11 承認

4・20 東京大学事務局設置案：合同大会運営機構設置。準備会がスタート。

現状：惑星科学会会員では，渡邊，倉本（惑星科学会），阿部，田近英一，宮本英昭（東大），林（北大Loc），大谷栄治（連絡会委員長）が準備会参加。運営体制を議論中。受益者負担の原則により参加費値上げ検討中。

質疑応答及び討論

質問：遊星人電子化は行わないのか。

回答（林，倉本）：基本的には現在前向きに検討中。

紙の出版を止めるかどうかは要議論。緊急性のある記事については順次電子化を進めたい。

質問：遊星人の発行で予算のほとんどを使っている。電子化をせずに発行を続け会費の値上げをするのは問題ではないか。また総発行数の一部を電子化してコストを減らしてはどうか。

回答（倉本，渡邊）：雑誌購読を歓迎する会員も多い。また印刷コストは主に版下作成にかかるため部数削減でそれほど低下しない。郵送費についても学術図書館の認定を受けているため現在はそれほど高くない

質問：来期合同大会の具体的な参加費は？

回答（阿部）：3000千万/参加者数=12,000位

採択 上期活動報告：満場一致で承認。

内訳：定足数 54，有効票数 116 [委任状 82

(議長) 2 (香内), 出席者32 (議長を除く)

3.2 第5期下期活動方針

基本方針 (案) ……………山本会長・各専門委員長

以下3点を中心に活動をすすめる.

- 対外政策強化

合同大会の今後, 学術会議再編問題, 学会再編問題, 国立大学や国立研究所の組織再編, 月惑星探査計画の進展に対処

- 財政状況のさらなる健全化

- 情報発信・受信機構の強化

学会運営改革, 理念について会員の意見を募集中

- 与えられた場ではなく, 積極的な発言と参加を

- 特に若い世代から

- 運営委員会ML steering@jsps.toho-jc.ac.jpで受け付け

予算 (案) ……………渡邊財務専門委員長

会費値上げ承認されたことにより, ガイドライン額よりも大きい予算編成を行う (詳細は表に)

質疑応答及び討論

質問: ミッションについてNASDA, ISASから

情報がでてきていない. 情報公開を惑星科学会から促しては?

回答 (山本, 林): もっと具体的な提言が必要. 惑星科学会のauthorize等の機能をうまく使うなどして, 草の根的に立ち上がることに期待.

質問: サーバー購入費用は25万円でOK?

回答 (林): スペック的には十分. 壊れたら寄進を期待.

採択

下期活動方針: 満場一致で承認.

内訳: 定足数 54, 有効票数 117 [委任状 82 (議長) 2 (香内), 出席者33 (議長を除く)]

4. その他

秋季講演会案内 (大竹真紀子会員より). 10・31-11・2 工技院共同講堂にて開催. 詳しくは遊星人vol. 2参照.

5. 議長団解任

6. 閉会宣言

1. 第5期上期 (1999年度) 決算報告 (財務専門委員会)

貸借対照表

1999年12月31日現在

(単位: 円)

資産の部		負債及び正味財産の部	
科目	金額		金額
流動資産		流動負債	
現金預金	1,879,606	未払金	305,235
未収金	0	前受会費	48,000
流動資産合計	1,879,606	流動負債合計	353,235
固定資産		固定負債	
貯蔵品	50,000	長期借入金	0
固定資産合計	50,000	固定負債合計	0
		負債合計	353,235
		正味財産	1,576,371
		正味財産合計	1,576,371
資産合計	1,929,606	負債及び正味財産合計	1,929,606

第5期上期 (1999年度) 決算 報告書 (1999年1月1日~1999年12月31日)

I 収入の部

(単位:円)

科目	予算額	決算額	備考
会費収入	3,132,000	3,321,400	
一般会費収入	2,448,000	2,201,400	含海外会員
学生会費収入	492,000	360,000	
賛助会費収入	350,000	450,000	
滞納分納入	328,000	310,000	702,000円のうち
当期分未収会費	△486,000	-	
学会誌出版事業費収入	80,000	95,382	遊・星・人
講読料	80,000	95,382	個人・機関講読
広告料	0		
秋季講演会事業収入	340,000	333,000	東北大学
予稿集頒布収入	180,000	162,000	1500円/冊
参加費	160,000	171,000	1000円/人
雑収入	0	0	
寄付金収入	0	8,000	松本誠樹氏
雑収入	151,000	351,580	
受取利息	1,000	1,189	
その他の収入	150,000	350,391	学情data (98,99年)
当期収入合計 (A)	3,703,000	4,109,362	
前期繰越収支差額	866,678	866,678	
収入合計 (B)	4,569,678	4,976,040	

II 支出の部

(単位：円)

科目	予算額	決算額	備考
学会誌出版事業費	1,954,000	1,816,849	遊・星・人
印刷製本費	1,700,000	1,625,400	4回分・表紙
送料運搬費	200,000	150,485	
保管料	19,000	18,900	保管：委託事務
事務委託費	35,000	22,064	手数料：委託事務
講演会事業費	704,000	564,143	
合同大会共催事業費	85,000	75,800	
送料運搬費	85,000	75,800	
秋季講演会事業費	519,000	388,343	東北大学
予稿集印刷費	170,000	92,345	
会場費	100,000	72,810	青葉記念会館
送料運搬費	4,000	0	
消耗品費	30,000	33,263	
諸謝金	150,000	189,925	
雑費	65,000	0	受付用品ほか
夏の学校補助金	100,000	100,000	
管理費(委託事務関連)	1,280,000	980,093	学会事務センター
業務委託費	950,000	860,895	
送料運搬費	250,000	104,560	
ニュースレター送料	150,000	41,680	
その他送料	100,000	62,880	会費請求
雑費	80,000	14,638	コピー・通信
管理費(事務局関連費)	192,000	88,584	
旅費交通費	0	0	
通信費	10,000	15,959	専用TEL・電報
送料運搬費	20,000	23,070	会誌著者分他
消耗品費	20,000	10,331	学会印他
印刷製本費	60,000	0	
諸謝金	60,000	32,209	会長業務補佐
諸手数料	6,000	7,015	振込手数料
負担金	6,000	0	
雑費	10,000	0	
予備費	439,678	0	
当期支出合計 (C)	4,569,678	3,449,669	
当期収支差額 (A-C)	△866,678	659,693	
次期繰越収支差額 (B-C)	0	1,526,371	

2. 第5期上期 (1999年度) 会計監査報告 (監事)

日本惑星科学会会長殿

平成12年3月31日

第5期上期 (1999年度) 会計監査報告

財務専門委員会からの収支決算報告を監査した結果、
収支計算に誤りのないことを確認しました。

日本惑星科学会監事 藤井直之

松田准一

3. 第5期下期 (2000年度) 予算案 (財務専門委員会)

概要 会費が値上げされたこと等による要因で、前
総会で示されたガイドラインとは、収入・支出とも
にかなり変更されています。収入では、値上げにより
会費収入は20%程増収を見込みました。昨年度の緊
縮財政の結果、前年度繰越収支差額は増えています。

支出では、学会誌出版事業費を学会誌出版・広報
事業費とし、将来計画専門委員会より要望のあった、
ネットワークサーバー立ち上げ費用と管理グループ
謝金を計上しました。学会誌印刷製本費は編集専門
委員会の、秋季講演会事業費はLOCの、それぞれご
努力で減額されました。当期実質収支差額 (予備費
分相殺) は242,000円の赤字です。

第5期下期 (2000年度) 収支予算書 (案) (2000年1月1日～2000年12月31日)

I 収入の部

(単位：円)

科目	予算額 (案)	前年度決算額	ガイドライン額・備考
会費収入	3,846,000	3,321,400	3,220,000
一般会費収入	3,037,500	2,201,400	値上げ 7500円
学生会費収入	585,000	360,000	値上げ 5000円
賛助会費収入	450,000	450,000	
滞納分納入	211,000	310,000	422,000円のうち
当期分未収会費	△ 437,500	-	回収率見込より
学会誌出版事業費収入	80,000	95,382	80,000
講読料	80,000	95,382	学会セ委託
広告料	0	0	
秋季講演会事業収入	245,000	333,000	350,000
予稿集頒布収入	100,000	162,000	1,000 円/冊を予定
参加費	145,000	171,000	1,500 円/人を予定
雑収入	0	0	
寄付金収入	0	80,000	0
雑収入	151,000	351,580	130,000
受取利息	1,000	1,189	
その他の収入	150,000	350,391	学情入力等
当期収入合計 (A)	4,322,000	4,109,362	3,780,000
前期繰越収支差額	1,526,371	866,678	430,000
収入合計 (B)	5,848,371	4,976,040	4,210,000

II 支出の部

(単位：円)

科目	予算額 (案)	前年度決算額	ガイドライン額・備考
学会誌出版事業費	2,279,000	1,816,849	2,000,000
印刷製本費	1,500,000	1,625,400	一般投稿主体に
送料運搬費	180,000	150,485	著者分送料含まず
保管料	19,000	18,900	学会センターに委託
事務委託費	30,000	22,064	学会センターに委託
備品費	250,000	0	ネットワークサーバ
諸謝金	300,000	0	サーバ管理
講演会事業費	495,000	564,143	700,000
合同大会共催事業費	95,000	75,800	
送料運搬費	85,000	75,800	プログラム郵送
秋季講演会事業費	10,000	0	運営委・総会会場
予稿集印刷費	300,000	388,343	筑波
会場費	120,000	92,345	
送料運搬費	0	72,810	
消耗品費	50,000	33,263	名札, 画鋏等
諸謝金	120,000	189,925	学会受付者謝金含
雑費	10,000	0	ポスターパネル他
夏の学校補助金	100,000	100,000	
管理費 (委託事務関連)	1,280,000	980,093	1,300,000
業務委託費	980,000	860,895	名簿作成等追加分
送料運搬費	260,000	104,560	
ニュースレター送料	180,000	41,680	極力学会誌に合本化
その他送料	80,000	62,880	会費請求
雑費	40,000	14,638	コピー, 通信
管理費 (事務局関連費)	510,000	88,584	180,000
通信費	0	15,959	専用TEL昨年度廃止
送料運搬費	32,000	23,070	会誌著者分等
消耗品費	30,000	10,331	ファイル他
印刷製本費	280,000	0	集録・名簿・NL印刷
諸謝金	80,000	32,209	会長業務補佐
諸手数料	8,000	7,015	振込手数料
負担金	80,000	0	ドメイン取得料
雑費	0	0	
予備費	1,284,371	0	30,000
当期支出合計 (C)	5,848,371	3,449,669	4,210,000
当期収支差額 (A-C)	△1,526,371	659,693	△430,000
次期繰越収支差額 (B-C)	0	1,526,371	0

◇第35回運営委員会議事録

日時：2000年6月26日(月)18:00-20:00
場所：地球惑星科学関連学会 合同大会会場 C308
出席：村江, 山本, 林, 渡邊, 田近, 倉本, 阿部,
 大谷, 比屋根, 香内, 高木, 佐々木, 渡部,
 並木, 福岡, 堀内, 藤原, 水谷, 中澤
欠席(委任状あり)：向井, 井田, 中村, 土山
オブザーバー：寺菌, 大竹

報告

1. 第32, 33, 34回運営委員会

香内総務委員長より, 第32, 33, 34回運営委員会(書面による)の議事が報告された。

(遊星人Vol. 9, No.1, p56; Vol. 9, No.2, p121参照)

2. 遊星人の発行状況

倉本編集幹事から, 「遊星人」の発行状況について, 発行がやや遅れているがその他は順調であるとの報告があった。また, 電子化については学会サーバーの立ち上げをにらみつつ, 積極的に対応したい旨の説明があった。

3. 合同欧文誌

比屋根委員より, 合同欧文誌EPSは順調に発行されている旨の報告があった。特集号を除いて惑星科学分野, 特に, 惑星物質科学分野からの投稿が少ないので, 一層の投稿をお願いしたい。また, 「EARTH, PLANETS AND SPACE」誌・学会間内規, 学会間覚え書き, EPS誌編集委員会・EPS誌運営委員会覚え書き, テラ学術出版との間の契約書・覚え書きが2001年4月1日に改訂されたことが報告された。

4. 2000年秋季講演会準備状況

大竹オブザーバーより, 2000年10月31日(火)-11月2日(木)に, 工業技術院筑波研究センター共用講堂で

行われる予定の, 2000年秋季講演会の準備状況に関する報告があった。

5. 2000年合同大会

村江委員より, 2000年合同大会が順調に運営されている旨の報告があった。

6. WPGM

並木委員より, WPGMの準備状況について報告があった。

7. 関連学会学会長等懇談会

山本会長より, 関連学会学会長懇談会が開催され, IUGGのの準備状況, 2001年合同大会などの現状と問題点に関する報告・議論がなされた旨の報告があった。

8. 日本惑星科学会情報サーバ

林将来計画専門委員長および寺菌オブザーバーより, 日本惑星科学会情報サーバ設置に関して, その背景, 経緯, 現状, および今後の予定についての報告があった。

9. 日本学術会議地球物理学研究連絡委員会

中澤副会長より, 地球物理学研究連絡委員会の議事に関して, 次の報告があった。

- ・第18期日本学術会議の第4部の会員として地球物理学研究連絡委員会からは, 入倉孝次郎, 西田篤弘の2氏が推薦されることになった。
- ・地球物理学研究連絡委員会の再編に関しては, 継続審議とし, 第18期へ申し送ることになった。
- ・IUGGの準備状況。

議事

運営委員会の成立を確認後、議事に入った。

1. 入退会者

香内総務委員長より、前回運営委員会以後の入退会者案が提案され、提案通り了承された。

2. 「高校生天体観測会・2000年プロジェクト」共催

香内総務専門委員長より、標記研究会の共催について提案があり、了承された。

3. 第5期上期決算及び第5期下期予算案

渡邊財務専門委員長より、第5期上期決算についての報告、および会計監査結果の説明があり、5期上期決算は原案通り了承された。(詳細は総会議事録参照)。

渡邊財務専門委員長より、第5期下期の予算案についての説明があり(詳細は総会議事録参照)、予算案が原案通り了承された。

4. 2001年秋季学会講演会開催地

2001年秋季学会講演会の開催候補地について議論し、岡山理科大学に依頼をすることになった。後日、岡山理科大学の嵯川氏より岡山理科大学での開催を引き受けたい旨の表明があった。

5. 2001年の合同大会運営

阿部対外協力専門委員長、大谷委員などから、拡大連絡会の議事が紹介され、引き続き、フリーディスカッションを行った。合同大会の理念は今後の地球惑星科学の発展を考えると非常に重要であるので、学会としても引き続き協力を惜しまないことが合意された。なお、合同大会の開催日程は2001年6月4-8日に決定された旨の報告があった。